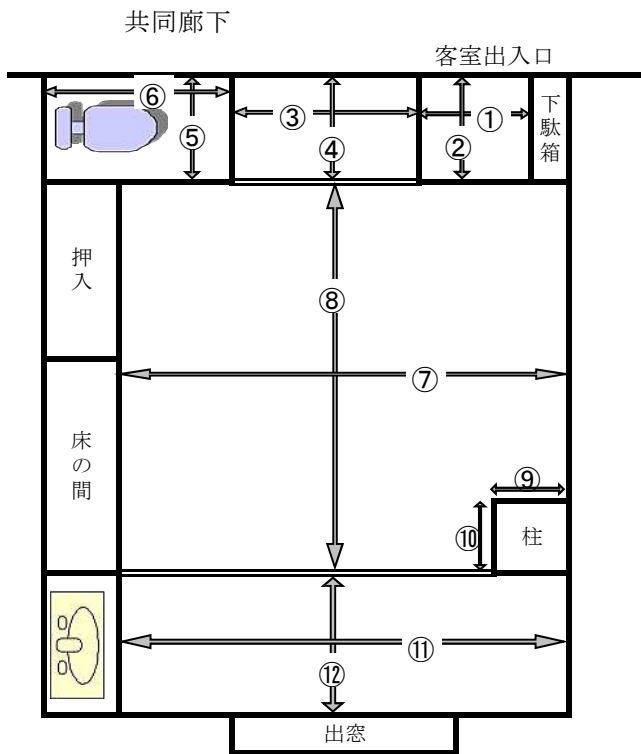


# 図面作成時の注意点

## 客室面積

- ・客室の床面積の算定は、壁、柱等の内側で測定（いわゆる内法）によって行う。
- ・床面積とは、宿泊者が専有して利用し得る部分の面積であって、これには共同の廊下、客室の押入、床の間等は含まれないが、客室に附属する浴室、便所、板間等は含まれる。



踏込み ① 0.95 m × ② 0.80 m = 0.76 m<sup>2</sup>

板の間 ③ 1.50 m × ④ 0.80 m = 1.20 m<sup>2</sup>

トイレ ⑤ 0.80 m × ⑥ 1.40 m = 1.12 m<sup>2</sup>

和室 ⑦ 3.60 m × ⑧ 3.30 m = 11.88 m<sup>2</sup>

広縁 ⑪ 3.60 m × ⑫ 1.10 m = 3.96 m<sup>2</sup>

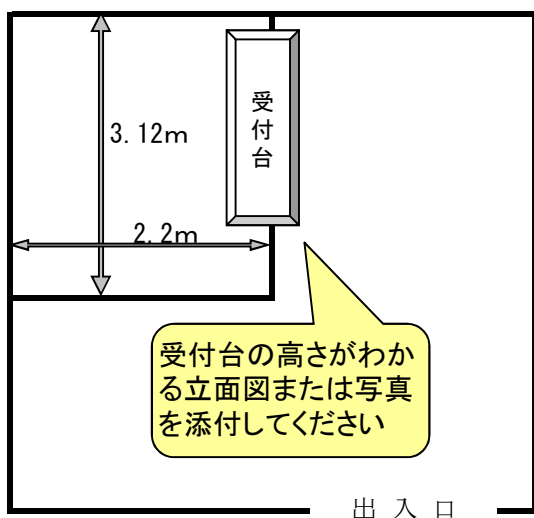
小計 18.92 m<sup>2</sup>

〔 柱 ⑨ 0.60 m × ⑩ 0.60 m = 0.36 m<sup>2</sup> 〕

客室面積： 18.92 m<sup>2</sup> - 0.36 m<sup>2</sup> = **18.56 m<sup>2</sup>**

※ 全く同じ間取りの客室であれば、測定は1室でよい。

## 玄関帳場又はフロント

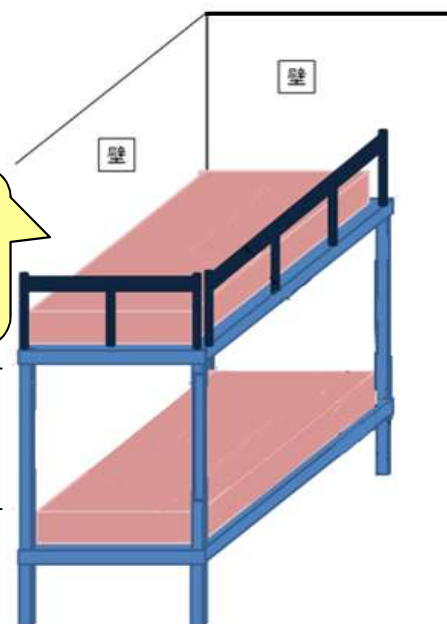


## 階層式寝台

上段のふちには、宿泊者が寝台から落ちないように手すりを設ける等適切に措置することが望ましい

おおむね1m以上\*

下段マットレスの上から上段までの長さ



※旅館業法施行令第一条第二項第三号